

岡山県海域における水質の長期的な変化

50年間に生じた変化の解析

【背景と目的】

海域環境は常に変化し、水産資源に様々な影響を与えます。水産研究所では海域環境を把握するために水質調査（浅海定線調査）を継続的に実施しています。この度、調査開始から50年が経過したことから、その間の変化を紹介します。

【成果の内容】

調査方法

※ DIN：溶存態無機窒素

解析方法

時期：毎月上旬に1回

定点：21定点

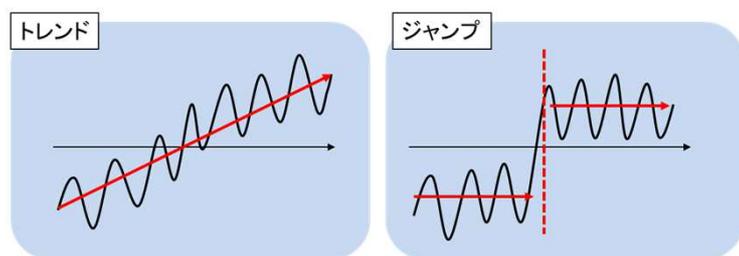
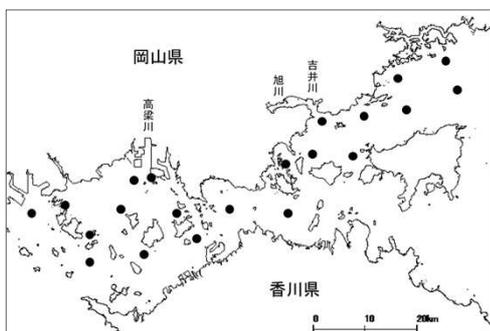
項目：水温、透明度、DIN濃度等

期間：1973年から2022年

項目：Mann-Kendall検定（トレンド（傾向））

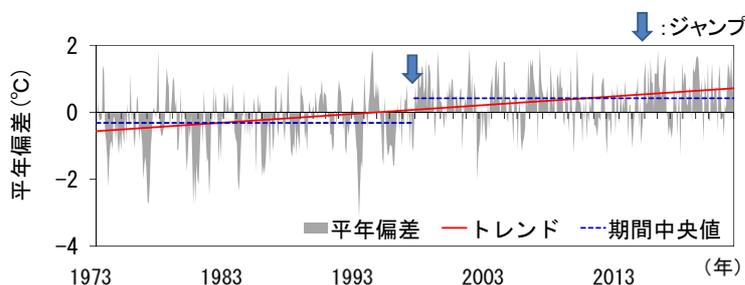
Sen's Slope（トレンドの大きさ）

Pettitt 検定（ジャンプ（急な変化））



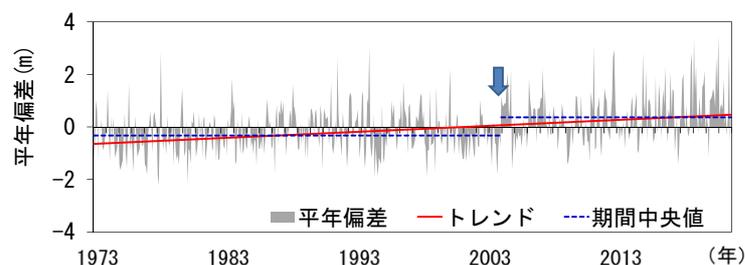
水温

0.026°C/年で上昇トレンド
(50年間で1.3°C)
1997年に上昇側へジャンプ



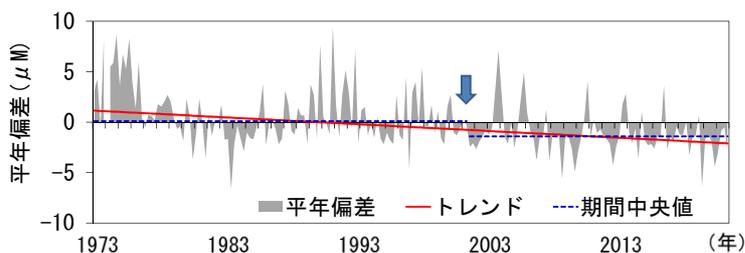
透明度

2.2cm/年で上昇トレンド
(50年間で1.1m)
2004年に上昇側へジャンプ



DIN濃度

0.065 μM/年で低下トレンド
(50年間で3.3 μM)
2002年に低下側へジャンプ



水質調査の結果は、水産業における様々な課題に対してその原因や対策を検討するための重要なデータとなります。調査を継続し、海域環境の把握に努めます。

お問い合わせ先

岡山県農林水産総合センター 水産研究所
瀬戸内市牛窓町鹿忍6641-6 TEL. 0869-34-3074